

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		商店街（代表者）	来客数の動き	・悪天候が続いたが、依然として大河ドラマ効果は衰えていない。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前は熊本地震の影響で、旅行客がかなり落ち込んだ。そのころと比較すると平年並みにまで回復しているため、良くなっている。9月は台風が度々あったものの、平日の客の少ない日と重なったため、影響は少ない。
		その他サービス [葬祭業]（経営者）	単価の動き	・今月の葬儀依頼は、家族や近親者だけで執り行う家族葬が中心である。これからはこうした葬儀が増える。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・秋雨前線が停滞し、降雨日やすっきりしない天候だが、来客数はそれほど落ち込んでいない。また、婦人衣料は継続して悪い流れだが、食品、化粧品、紳士衣料などは好調さを取り戻しつつある。トータルでは3か月前と比べるとやや良くなっている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・売上は前年比90%だったが、9月に入り100%になっている。来客数も同103%と上がってきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・シルバーウィークは仕事の人も休みの人もいて、前年比プラスである。9月全体では、降雨で来客数が思ったほどは伸びていない。全体では前年比プラス3%ぐらいで推移している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車が発売されて、受注はやや上向きになっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・少しずつだが、着実に改善してきている。宴会はまだだが、フリーの客は3年前より明らかに増加している。
		都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・3か月前は全体的に稼働が低かったが、それに比べれば9月は稼働が良い。多少季節的などころもあると思うが、3か月前と比べれば、やや上向いている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー業界は、天候や災害など外的要因によって大分違う。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・不動産関連では、8月の販売数は減っているが、今月は多少の戻りがある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買物客はますます大型店に行ってしまう、欲しい物がない場合だけ路面店に来て、店をのぞいている。こうした傾向は10年前からあるが、近ごろひどくなっている。駅前商店街でありながら、土日はゴーストタウンのようである。
		一般小売店[精肉]（経営者）	お客様の様子	・今月は雨が多く、客がなかなか動き出さない。また、お彼岸もやはり天候が悪かったため、客は全然出てこない。
		一般小売店[家電]（経営者）	お客様の様子	・天候不順で農作物をはじめ明るい話題がない。時期的にもこれといった商材がなく、客も雨では行動が限られ、すべてにおいて動きが出ない。
		一般小売店[家電]（経営者）	販売量の動き	・客の消費は必要最小限に絞られているように感じる。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・天候不順により集客の変動はあったが、トータル的に大きな変化はない。低価格路線の影響も、買上点数増加でしのいでいる状況である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・9月前半までは、夏の暑さというか夏の名残で、まずまずの販売状況だったが、後半は雨が多くなると共に、急に寒くなったため、売上が大分落ちている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・前月と同じだが、近隣で工事があったため、前年並みの数字をなんとか確保している。状況的には若干落ちているかもしれないが、数字的にはあまり変わっていない。
		乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・車両販売は相変わらず低迷し、仮に販売ができたとしても契約に至るまでに時間がかかっている。車検や修理も、とにかく安くという客の声が多い。デフレ脱却とはほど遠い感がある。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新型車が発表されても客の反応は少なく、展示会の来客数は減少傾向にある。
	乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・自動車販売店だが、先日会合があり、今月の状況を皆に聞いた。当店もそうだが、第2週くらいまでは、来客数、販売量も少なく良くなかったが、今月中旬以降は良くなっているため、変わらない。	

乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・客はぼつぼつと来ているが、当社は観光地を控えているため、ホテル、旅館の経営者や、それに携わっている客が多い。ここ何か月かは、派遣として県外から働きに来ている方が目に付くようになっている。こういう客は車の修理には来るが、販売にはつながらない。従来から地元にいる方の車の購入意欲が減っているため、景気が上向いているとは思わない。
乗用車販売店 (管理担当)	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費偽装問題の影響により、新車販売台数は横ばいである。
自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・従来の営業方針でやっている、車が全く動かない。そのため、単価を下げたり顧客誘導に変化を取り入れて、売上を上げている。それらを差し引けば、決して景気が良いという感じはしない。自助努力でなんとかプラスマイナスゼロにしている。
一般レストラン (経営者)	それ以外	・売上は前年同期を維持したものの、地元客の動きが鈍い気がする。
一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・周辺の同業飲食店から来客数が激減し、成績も芳しくないという話を聞く。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・夏以降、宴会の受注件数が落ち込んできており、業績に悪影響が出ている。一方、レストラン部門はリオデジャネイロオリンピック終了とともに、客足が戻ってきている。葬儀向けを主体とする仕出し関係も右肩上がり伸びている。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・大河ドラマの影響とみられる観光客が来店しているものの、前年並みかそれ以下である。
スナック(経営者)	お客様の様子	・客の様子だけではなく、その他の観点から見ても、とにかくお金がないのか、皆、生活を守るのに必死で、客の様子が変わってきたような気がする。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・5月から地域全体で前年実績を割っている。今月の集計はまだだが、9月、さらに10月も同様の動きと考えられる。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・秋の行楽シーズンを迎えるが天候不順もあり、先行予約は思うように伸びていない。
タクシー(役員)	お客様の様子	・今月は連休があったものの、あまり変化がない。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・高齢者世帯の契約保留や解約が増えてきている。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・販売量に増減はなく、横ばいである。
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・前年は大雨による災害の影響から来客数が大きく減少したため反動を期待していたが、前年はシルバーウィークがあったため相殺され、前年比で増加することはなかった。
ゴルフ場(支配人)	それ以外	・台風と秋雨前線による雨が異常に多い月となり、日照不足も芝の生育に非常に心配である。クローズはないもののキャンセルが多く、来場者が減少している。
ゴルフ場(総務部長)	来客数の動き	・来場者の予約状況が3か月前と比べて減少傾向である。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購入単価共に、それほど変化はない。
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・来客数、販売量共に、横ばいである。また、各テナントの客の様子は、予約状況、販売量共に横ばいのため、変わらない。
その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・天候不順等が重なり、客の出足は鈍い方である。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・ここ数か月は来客数を維持できている。9月に入り行事や天候の影響が多少あったものの、なんとか予算もクリアできている。
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・地価低迷から売却物件が非常に少ない。デフレの状態が続く限り回復は見込めない。
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・景気が良いかどうか、最近では本当にわからない。店舗を閉める店がある一方で、新規にオープンする店もあり、これらが入り混じっている。人の流れは全体的に少し増えているものの、不動産については、安い物件には飛び付くが、それ以外の購入にはなかなか結び付かない。
商店街(代表者)	来客数の動き	・お盆過ぎから購買力が非常に落ちてきたが、それでも9月は運動会シーズンだったため、なんとかといったところだが、運動会のピークを過ぎた月後半は、本来に来客がなくなって、景気が悪いような感じである。

一般小売店〔衣料〕(経営者)	販売量の動き	・今日は天気が良いが、今月は雨ばかりで、売上は上がっていない。
一般小売店〔青果〕(店長)	単価の動き	・9月に入ってから長雨と日照不足により、野菜がとんでもない値段になっているうえに、品物も大変悪い。配送品も傷みが多いためキャンセルをされたり、購入がかなり少なくなっている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・衣料品の売上が、前年に比べて大分落ちている。食品、リビングはまずまずだが、衣類のファッション系が特に悪くなっている。
百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・食品大型物産展等、好調な商品群も見受けられるが、引き続き婦人、紳士アパレルの不調が顕著である。残暑や長雨など天候の影響を控除しても極めて悪く、売上減の主な要因となっている。
百貨店(副店長)	販売量の動き	・前月同様、潮目が悪い方に変わってきたという印象を受けている。百貨店から中間層が離れていることは間違いないが、頼みの富裕層の動きも鈍く、外商部門の売上が苦戦を強いられている。社員の世代交代など内部事情によることもあるが、客からおう盛な購買意欲を感じられない。
スーパー(統括)	販売量の動き	・台風や豪雨による東北、北海道の農産物の被害により、土物、葉物共に、価格高騰を招き1人当たりの買上点数が減っており、売上に苦戦している。
コンビニ(経営者)	お客様の様子	・今月は台風の影響や降雨による悪天候で、来客数が大幅に減っている。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・近隣事業所の業績が悪いため、やや悪くなっている。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・新車販売台数がかなり落ちており、商談が持ち上がらない。救いは車検台数や整備の売上が伸びていることである。減収増益という感じである。
住関連専門店(経営者)	販売量の動き	・売上、来客数、買上点数共に、微減傾向にある。1品当たりの単価は上昇傾向にあるが、買上点数の減少によりトータルの売上にブレーキをかけている。消費マインドの先行き警戒感はいまだ根強く、小売業の現場からは景気回復の兆候は感じられない。
住関連専門店(仕入担当)	来客数の動き	・とにかく天候がすぐれず、来客数が減少している。端境期に、例年より雨天の日が多いと、大きく売上が落としてしまう。
その他専門店〔燃料〕(従業員)	販売量の動き	・販売量は毎月減少している。前年と比べても3%前後は減少している。
都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・9月に入り梅雨時と同じで、毎日雨ばかりで客足が非常に鈍っている。当地も大変である。
都市型ホテル(副支配人)	販売量の動き	・9月は団体予約等も少なく、個人予約の伸びも今一つだが、例年見られる傾向である。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・企画募集旅行や個人旅行の受注に伸びがなく、催行されないツアーが出ている。シルバーウィークによる受注も極端な動きは少なかった。また、九州ふっこう割ツアーなども、台風などの悪天候により客の動きが鈍い。
タクシー運転手	お客様の様子	・かなりの人が電車から降りてきても、タクシーを利用する人がいない。本当にひどい状況である。駅周辺の駐車場を月ぎめで借りている人と家族の送迎で素通りする人ばかりである。1日の営業回数は、10回前後しかない。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・全体的に動きが悪く、前年同月と比べて4%の減少である。
通信会社(店長)	お客様の様子	・新製品が出ても販売が増えない。
観光名所(職員)	来客数の動き	・台風と秋雨前線により、今月は晴天の日がほとんどなく悪天候続きで、客足に大きな影響が出ている。
美容室(経営者)	お客様の様子	・今月は、くもりや雨が多く晴れの日が少ない。雨の日は農家の客が非常に多く、一般客が少ない。全体的には悪い状況が続いている。
その他サービス〔自動車整備業〕(経営者)	それ以外	・同業者や異業種との会合でも良くない話ばかりで、存続を危ぶむ声が多くなっている。客の動向もますます厳しくなっている。
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・少し良くなってきたかと思っていたが、最近、計画物件が決まらず、仕事量は減ってきている。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・相変わらずの状況だが、以前と違って金銭的に全く余裕のない取引先が多くなっている。

	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順の影響は大きい。秋らしさがなく残暑がだらだら続くことも心理的には大きい。ただし、人通りの少なさは、そのためばかりではない。今必要な物を買ってくる客以外の購買意欲を全く感じられない。
	x	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月も必要な物以外は買わない状況が続き、悪天候の影響でさらに拍車がかかっている。日曜日の屋外イベントも台風で人出が少なく、寂しく終了している。
	x	百貨店（店長）	販売量の動き	・全体の景況感の悪さに加え、悪天候の影響も大きい。
	x	スーパー（経営者）	来客数の動き	・価格競争が激化してきている。
	x	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・7月中旬以降、客の動きというか来客数がぱったり、目に見えて減ってきている。不安材料があるのか、天候の影響なのか読みづらい部分もあるが、財布のひもが固いというよりも、客が出てこない。今一番欲しい物は、商品ではなく客である。
	x	家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月の売上は前年並みとなる。主要商品単価も前年並みで、売上をけん引する商品が出てこない。
	x	通信会社（経営者）	販売量の動き	・一向に回復の気配はみえず、販売量の減少が止まらない。
企業 動向 関連 (北関東)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの輸出増加で、良くなっている。
		その他製造業 [環境機器]（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電の売電額が売上及び粗利で増えているが、雨の多い月で、天候不順の影響を受けている。やや良くなっているくらいに止まっている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月1週目の注文が少し増えている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・長期低迷していた油圧ショベル向けの仕事も、景気の底打ち感から若干上昇傾向にある。また、自動車向けの仕事を中心に、新規の受注や問い合わせが増えてきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同月に比べて2割ほど減っているが、年初から3割仕事が増えている。季節要因を除けば、最悪期からは1割ほどのプラスとなっている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先よりスポット業務の依頼があり、少しではあるがその分売上が増加している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・4～6月は宣伝広告の出稿が低迷していたが、半期が過ぎてようやく増加傾向にある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年の年末商品受注に加え、飛び込みの特注品受注が多少ある。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特装車両、産業用機械共に、受注量は落ち着いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・継続した仕事は少ないものの、頑張って営業すれば仕事は確保できる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子、受注量、販売量の様子いずれもまずまずで、前月とあまり変わらず良い状況のままである。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・第2四半期末で、受注はある程度確保できたが、特段良いというわけではない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・季節商材の冬物衣料や家電、こたつ等の輸送量が、天候に左右され一時遅れたものの、ここに来て涼しくなり例年並みの輸送量を確保している。
		通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規客の開拓が難しい。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の業況感は一進一退の状況が続いており、二極化もみられる。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・海外からの観光客については、引き続き順調に推移しているが、米国を除く各国の景気動向に回復の兆しが見えてこないため、国内景気も足踏み状況が続いている。
		新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型店の出店により市の周辺部のチラシ出稿量は伸びたが、市街地では減少している。衣料品の大型店では、長雨で気温が下がり、コート類の売上が早くも伸びて注目している。今月のチラシ出稿量は前年比97.6%である。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・各地の食関連や地域おこし、商店街等のイベントにそこそこの人出がある。景気の落ち着き感と共に若干のゆとりも見られ、消費が戻りつつあるようである。	

	司法書士	受注量や販売量の動き	・ほんの少し良いかとも思うが、変わらないと判断した。
	社会保険労務士	取引先の様子	・小売業では売上が多少減少しているものの、利益はどうか確保できているようである。
	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に、増加傾向にある。客の投資意欲を感じる。
	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・価格で受注先を選ぶようになり、40年近く取引していた相手でも3分の電話で断られる状況である。
	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・秋の長雨や台風の影響により、近年には経験のない天候が続き、来客数、売上共に、例年より落ち込んでいる。
	不動産業 (経営者)	競争相手の様子	・空室が多くあるが、新築物件は増え続けている。
	× 電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・主要取引先の電話システム加工部品の受注がいまだに芳しくない。
	× その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・国内で開かれた9月初旬の国際宝飾展では市況を反映し、来場客の減少が目立った。現物の売買は前年並みだったが、いまだ、相手先委託ブランド名製造の分野では受注が取れず結果的に前年比20%の下落である。
	× 建設業 (開発担当)	受注量や販売量の動き	・現政権3年間で公共事業は順調に推移してきたが、今期は半年経過で、公共事業は前年比81%の発注と大変厳しい。当社の受注も前年比10%減であり経営が厳しく、今後の発注に期待せざるを得ない。10年以上続いた建設業不況の再来にならないよう願っている。より一層の経営努力も必要である。
雇用 関連 (北関東)	-	-	-
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・8月の月間有効求人数は、前年比6.8%増で増加傾向にあり、新規求人数も同9.5%の増加で、3か月ぶりの前年比増となっている。一方、8月の月間有効求職者数は、前年比1.2%減で、6か月連続の減少傾向である。こうしたことから、高い求人倍率が出ている。
	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・求人案内が相変わらずで、企業先、条件等も同じである。人が足りないのか採用条件に問題があるのか、企業も求職者も考える必要がある。
	人材派遣会社 (支社長)	雇用形態の様子	・直接雇用とうたっているが、ふたを開ければ1年契約の契約社員が多い。紹介予定派遣であっても、登録スタッフは慎重になっている。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	・求人誌に掲載する企業数は前年比20%減である。掲載企業も求人募集をしても応募の少ない介護、医療、飲食店などが多い。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・求人数は増えているものの、非正規求人が多い。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求人数及び有効求人数は増加傾向を示しているが、前年同月比で8か月連続で減少していた求職者数も、わずかだが増加に転じている。
	学校 [専門学校] (副校長)	それ以外	・前年度に比べ高校生の求人数、求人企業、共に増えているが、工場での製造業務など職種に偏りがあり、求人数だけで景気の上昇は測れない。求人に関しては、例年に比べ活発な状況である。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・台風などの天候不良から農作物の生産にも影響があり、青果物、衣料、小売、販売などが目立っている。少子化の影響もかなり出て来ており、今後も予測できない。
	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・現状、求人数が少ないため、売上も下がっている。
×	人材派遣会社 (管理担当)	×	・時給の高い求人が減少しており、採用人数を抑える傾向もある。一般的な時給の求人に変化はない。